



下野町ポンプ場見学

令和6年2月13日発行

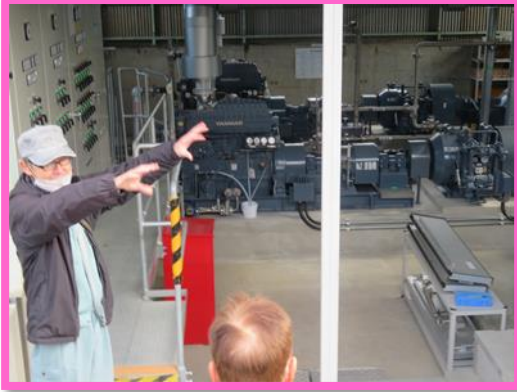
沼川排水機場

沼川排水機場



下野排水機場

下野排水機場



2月4日(日)、下野町ポンプ場にまち協委員12名で見学に行ってきました。
当日は、県東部土木事務所(2名)・鳥栖市建設課(2名)の方に対応されまして、大雨の時にどんな役割を果たすのか？実際にはどう稼働しているのか？など皆さんが抱える疑問に付いて、県東部土木事務所職員さんより、くわしく説明していただきました。
皆さん「今回色々な事が聞けて良かった」とホッとされ帰られました。

市のホームページより

大雨時に排水ポンプの運転調整を行うことがあります。

市内には、大雨の際にたまった雨水を河川(筑後川や宝満川)に強制的に排水するためのポンプが、沼川排水機場(下野町)、下野排水機場(下野町)蓮原排水機場(水屋町)、轟木排水機場(真木町)、前川排水機場(真木町)に設置されています。

しかし、ポンプ場で排水を続けた場合、大雨による河川の水位上昇に加えて水位がさらに上昇し、氾濫危険水位を超えると、決壊・越水が生じ地域にとって壊滅的な被害を招く恐れがあります。そのため、大雨の際にもポンプの運転を停止(運転調整)することがあります。運転調整した場合、宅地側の水位は上昇しますが、河川水位が抑えられ、堤防決壊による甚大な被害が発生するリスクが軽減されます。運転調整は、河川の氾濫を引き起こさないために、やむを得ず行う場合があります。ポンプで排水している地域の皆様のご理解をお願いいたします。

令和6年度鳥栖市市制70周年記念として

【キャップアート製作します】



ペットボトルキャップを回収します♡

鳥栖市市制70周年記念として、まちづくり推進協議会のみなさまとキャップアート製作に挑戦します。まだ、詳細はこれからですが、まず「ななまる・はなまる・つなぐ鳥栖」のマークと旭地区のシンボルマークの二つを製作します。

旭地区のシンボルマークのデザインが、なーんと赤のデザインが主となっております。

すでに、江島町・青葉台町とあさひ新町から袋いっぱいペットボトルキャップが届いており、回収が始まっています。

センターの玄関にも、キャップ回収箱を設置しています。

様々な色が集まっていますが、赤のペットボトルキャップは、希少なもので、なかなか回収できません(；)

このシンボルを製作するには数多くの赤のペットボトルキャップが必要となります。

ご家庭に、赤のペットボトルキャップがありましたら、ぜひセンターへお持ちください。

ご協力よろしくお願ひいたします。

※キャップは、洗ってよく乾かしたものをお持ちください。

センターの花壇に花の苗を植えました♡



2月2日(金)冬こもり中で寂しかったセンターの花壇に地域の方から、畑で大切に育てたお花の苗をたくさん頂きましたので、苗植えをしました。

思いおこせば・・・この花壇は、社協のコーディネーターを務めていた故人平川さんが、「センターを訪れてくる方にお花を楽しんでもらいたい」と暑い夏の日もお手入れされ、種から大切に育てたお花で季節ごとに楽しませてくれていました。

そう振り返るともう一年になりますね。

早いものです。今日のこの日に苗が届いたのもきっとセンターを想ってのことでしょうね。

暖かくなり、花壇の上に桜の花が咲く頃花壇も可愛いお花畑になると思います。どうぞ、お楽しみに！

ご質問・ご意見は 旭地区まちづくり推進協議会 事務局 まで

鳥栖市旭まちづくり推進センター内

TEL 82-2603 FAX 55-8513

お問い合わせ時間 月～土 9:00～17:00 e-mail asahcc02@kumin.ne.jp